

防犯ボランティアの

い る は

パトロールの
着眼点編

① 防犯灯が必要な場所や故障している場所はないか

暗い道路では、痴漢やひったくり等が発生するおそれがあります。
防犯灯が必要な場所、自治体等の防犯灯の管理者へ連絡・相談しましょう。

② 不良少年のたまり場となっていないか

街頭で犯罪に遭う方の多くが、歩行者や自転車利用者です。同じ視点で見ることによって、危険な場所がよく見えてくるので、最も効果的です。
ただし、山間部など地域によっては、車でのパトロールが効果的な場合もありますので、地域の情勢にあったパトロールを行いましょう。

③ 見慣れない人や車はないか



通学路等においては、子供や地域の安全を確保するために、不審人物や不審車両がないか確認しましょう。

④ 公園などの遊び場に異常はないか



公園等は、子供たちが安心して遊べる場所であるので、不審人物や不審車両がないか注意しましょう。

また遊具等の不備を発見したら施設管理者へ連絡しましょう。

⑤ 廃屋、空き家などに異常はないか



廃屋、空き家等は、犯罪の温床になりやすい場所ですので、危険な場所として情報化しましょう。

気楽に！ 気長に！ 無理せずに！

